



あの不朽の名作が実写映画化!!

1945年神戸。戦渦のなか、孤児となった幼い兄妹は精いっぱい生きようとした——。



火 垂るの墓

れお りな
吉武伶朗 畠山彩奈 (子役) 松坂慶子 / 松田聖子

江藤潤 高橋克明 山中聡 池脇千鶴 千野弘美 谷内里早 鈴木米香 萩原一樹 矢部裕貴子 / 原田芳雄 長門裕之

原作:野坂昭如(新潮文庫刊『アメリカひじき・火垂るの墓』より) 監督:日向寺太郎 脚本:西岡琢也 音楽:Castle In The Air (谷川公子+渡辺香津美)

製作:石川博、川城和実、朝畑敏春、久松猛朗、横倉信夫、鈴木ワタル 企画:大橋孝史 プロデューサー:伊藤成人、河野聡、南條明夫、磯田修一 プロデューサー補:上山公一、中島英俊 撮影:川上晴市 照明:水野研一 録音:久保田幸雄 美術監修:木村威夫
美術:中川理仁 装飾:田辺文二 編集:川島章正 スクリプター:内田舞子 ヘアメイク:小堺なな 助監督:酒井長生 ラインプロデューサー:坂井陽一 制作担当:出口悦寛 スチール:遠崎晋宏 タイトルデザイン:赤松陽輔造(日映美術)
協力:新潮社/岩波ホール 撮影協力:ひょうごロケ支援Net(兵庫県、神戸フィルムオフィス、姫路フィルムコミッション、淡路島フィルムオフィス、加古川市、加古川フィルムコミッション) 設立準備会:高崎市、西宮市、宝塚市、三木市、南あわじ市、日本毛織株式会社
販売協力:S11 製作:『火垂るの墓』パートナーズ(テレビ東京/バンダイビジュアル/ポニーキヤニオン/衛星劇場/佐久間製菓/トルネード・フィルム/ジャーロジャー/バル企画) 配給:バル企画(2008/カラー/35mm/100分/ビスタサイズ)

<http://www.hotarunohaka.jp>



ふたたび日本中が涙する
戦渦のなか、孤児となった
幼い兄妹が精いっぱい生きた物語



戦争文学の名作として、1967年の発表以来、ロングセラーとなっている野坂昭如の直木賞受賞作「火垂るの墓」がついに実写映画化されました。

88年の高畑勲監督によるアニメ映画でも知られるこの名作を監督するのは、「父と暮せば」「紙屋悦子の青春」の故・黒木和雄監督を師と仰ぎ、05年に浅野忠信主演「誰がために」で監督デビューした日向寺太郎。本作は当初、黒木監督による映画化が検討されていましたが、黒木監督の急逝後、日向寺監督がすべてを引き継ぎ、製作を進めました。

日向寺監督は、原作の舞台である兵庫県でオールロケを敢行し、清太と節子が生きた敗戦のあの暑い夏を再現。黒木監督を思わせる妥協のない製作姿勢を貫き、静かに深く心に刻まれる感動作を完成させました。製作スタッフは、“黒木組”の撮影・川上皓市、美術監修・木村威夫、録音・久保田幸雄など日本を代表するベテラン。音楽は、世界的に活躍するギタリスト・渡辺香津美が、ピアニスト・谷川公子とともに初めて映画音楽を担当、兄妹へのレクイエムを奏でます。

兄・清太を演じるのは、NHK「すずらん」「大河ドラマ葵～徳川三代～」舞台「ライオンキング」シンバ役などで注目の若手俳優・吉武伶朗。妹・節子を愛らしく演じるのは「Dr.コトー診療所2006」に出演の弱冠5歳・島山彩奈。そして、親戚の未亡人役に名女優・松坂慶子。清太の母・雪子役に7年ぶりの映画出演となる松田聖子。長門裕之、原田芳雄、池脇千鶴、江藤潤らの脇役にいたるまで、実写映画ならではの豪華キャストによって、不朽の名作がスクリーンによみがえります。



1945年8月15日の敗戦は、兄妹にとって戦争の終わりではなかった—

6月神戸全域を襲った空襲で病身の母を亡くし、父は出征したまま連絡が途絶え、清太は妹・節子とともに西宮の遠い親戚宅で世話になることになった。だが、お婆さんの冷たい仕打ちに耐えられず、清太は節子連れ、その家を出て防空壕の中で二人だけの生活を始める。

日に日に悪化する戦況とともに、やせ細っていく節子。清太は、時折母の優しさ、父の厳しさ、つい数ヶ月前までの平和な生活を思い出しながら、妹を励まし、懸命に生きていこうとする。そして、日本は敗戦の日を迎えた。ホタルのように短く儂い兄妹の命は…。



ほた 火垂るの墓

(2008/カラー/35mm/100分/ビスタサイズ)

7月5日(土)よりロードショー

ほたるのはか 検索



岩波ホール

03-3262-5252 <http://www.iwanami-hall.com/>

上映時間 [入れ替え制・自由席定員制]

7月5日(土)~7月18日(金)/9月1日(月)~	月~金	11:30	2:30	6:30
	土日・祝	11:30	2:30	5:30

7月19日(土)~8月31日(日)

連日	11:30	2:00	4:30	6:50
----	-------	------	------	------

特別鑑賞券1,500円(税込) [当日¥1,800の処]
ペア券(お二人様・岩波ホール窓口のみ)2900円
●岩波ホールチケットガイド(ビル1F)の他、都内プレイガイドにて発売中!

●地下鉄(都営三田線・新宿線/半蔵門線)神保町・A6出口すぐ
JR(中央線)水道橋または御茶の水駅下車徒歩12分 ●神保町交差点角